

試験・分析・調査報告書

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
見本
〒284-0033 千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
電話 043-237-5676
ファックス 043-237-2912

ご依頼者 株式会社〇〇
試験品 生地 A
生地 B
ご依頼事項 物性評価
試験品受領日 20〇〇年〇月〇日

<結果及びコメント>

生地 A と生地 B について、破断応力、破断歪率の測定結果は、以下の通りです。破断応力、破断歪率いずれも有意な差が認められました。

試験品名	破断応力 ^{注1} ^{注2} (N/cm ²)	標準 偏差	破断歪率 ^{注1}	標準 偏差
生地 A	0.51 *	0.06	89.5 *	1.2
生地 B	0.28	0.03	73.8	5.0

注1: 10回測定分(n=10)の平均値

注2: 破断応力の N/cm² は「測定値(gw/cm²) × 0.00980665」で換算した値

*: 生地 B と比較して有意差のあった数値(t検定、有意水準5%、両側検定)

詳細は、試験内容をご参照ください。

<試験内容>

試験品の状況

- ・試験品は、生地 A、生地 B です。

調理条件、測定時間

【生地 A】

- ・製品を開封し、10 分間電子レンジで加熱後に測定しました。

【生地 B】

- ・製品を開封し、15 分間電子レンジで加熱後に測定しました。

- ・測定は、いずれも加熱後 15 分以内に実施しました。

物性評価

お客様とご相談の上、決定する、測定条件を記載いたします。
また、測定数値の意味合いについてご説明を記載いたします。

- 生地 A と生地 B について、破断応力、破断歪率の測定結果は、以下の通りです。破断応力、破断歪率いずれも有意な差が認められました。

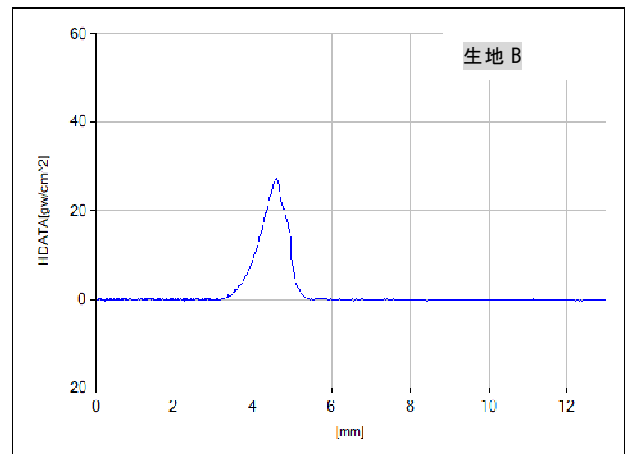
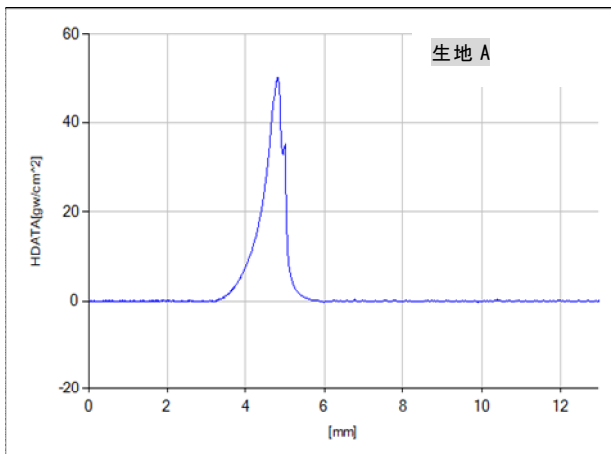
試験品名	破断応力 ^{注1注2} (N/cm ²)	標準 偏差	破断歪率 ^{注1}	標準 偏差
生地 A	0.51 *	0.06	89.5 *	1.2
生地 B	0.28	0.03	73.8	5.0

注 1 : 10 回測定分 (n=10) の平均値

注 2 : 破断応力の N/cm² は「測定値 (gw/cm²) × 0.00980665」で換算した値

*: 生地 B と比較して有意差のあった数値 (t 検定、有意水準 5%、両側検定)

- 生地 A は、生地 B と比較して破断応力、破断歪率いずれの値も高い特徴がありました。このことから、生地 A は生地 B よりも噛みちぎりにくいと推察されます。



本測定で得られた代表的なチャート

以上